

令和5年度官民協働事業レビューにおける意見・評価

事業番号: 8月5日(土)⑥

担当部局・担当課名: 生活環境文化部国際課

事業名	富山県国際交流奨学金等支給事業補助金	評価結果	抜本的改善
-----	--------------------	------	-------

事業レビューにおいて発言のあった主な意見

【委員の意見】

- ・グローバル人材として富山で活躍していただける方を給付の対象にしてほしい。
- ・奨学生のネットワーク化をして、例えば富山で何かやるときに反応を聞いてみたりとか考えてはどうか。
- ・奨学生のその後の活動の把握により、事業の検証が必要。もう三十数年たっていて、具体的成果が乏しい。
- ・毎年同じ予算を使うなら、他の制度的な支援のほうが良いのではないか。
- ・県が独自にしなければならないのか。

【県民評価者の意見】

- ・県が留学生に奨学金を出すことで、県・県民へのメリットが見えづらい。

県民評価者の評価シートによる評価

県民評価者総数	20
---------	----

評価区分 (考え方)	行政の関与 不要 (事業自体の廃止、または団体の自主事業として実施)	役割分担 見直し (他県連携)	抜本的改善 (フォローアップ調査の うえ判断/メニューの一部 廃止)	一部改善 (支給金額の見直し)	現行どおり ・拡充
		7	1	10	2
県民評価者の 主なコメント	【抜本的改善】 ・奨学金受給者が、大学卒業後、何らかの形で今以上に富山とのかかわりをもつことを条件にしないと、何のための奨学金かわからない。 ・現金ではなく、授業料の一部減額や、資格試験の受験料補助等の形での支援を検討してはどうか。 ・奨学金受給者のフォローアップが必要。成果指標の在り方と見直しが必要。				
	【行政の関与不要】 ・奨学金制度はよいが、県が関わるからには、留学生が県あるいは県民に何かリターンがあるべき。そうでなければ県がやる意味がないと思う。 ・成果を見える化する必要がある。 ・民間や他団体でも奨学金制度はあるが、県が実施する必要性は何か。 【一部改善】 ・奨学金受給者が、卒業後富山に残って居住してくれるのか。世界に富山のいいところを発信してくれるのか成果がわからない。				

【参考】委員による評価

委員総数	4
------	---

評価区分 (考え方)	行政の関与 不要	役割分担 見直し	抜本的改善	一部改善	現行どおり ・拡充
		0	0	4	0

事業名	富山県国際交流奨学金等支給事業補助金	評価結果	抜本的改善
------------	--------------------	-------------	-------

【県の対応】

今後の 対応方針	抜本的改善	事業内容見直し			
	○他県との事業比較の結果等も踏まえ、私費留学生のうち、在籍2年目以降の学生及び大学院生への給付(月額5万円)を休止し、成果を検証 (私費留学生のうち、在籍1年目の学生への給付(月額1万円)及び日本語教育機関の学生への給付(月額3,000円)は継続)				
令和6年度 当初予算 での対応	R6当初予算 (要求額)	6,992(千円)	R5当初予算	20,792(千円)	増減額 ▲13,800(千円)
	増減理由	奨学金の給付内容を一部見直し(月額5万円の給付を休止)による減			

当初予算編成プロセスの見える化

令和6 年度 当初 予算	要求 状況	要求額	6,992(千円)	前年度予算額	20,792(千円)	
		事業の目的	・外国人留学生が安心して勉学、研究に専念し、意義のある留学生活の実施 ・将来、地域への貢献、諸外国とのネットワークづくりに寄与する人材の育成			
		事業内容	県内の高等教育機関や日本語学校で学ぶ外国人留学生に対して、奨学金(月額1万円、3千円)を支給			
		積算内訳	6,992千円			
	予算編成過程における議論		レビューにおける意見を踏まえ、私費留学生のうち、在籍2年目以降の学生及び大学院生への給付(月額5万円)を休止し、今後、成果を検証			
	最終的 な 予算 案	予算額	6,992千円	/		
		要求時点からの変更点	変更なし			